

起動するまでの手順書

目次

全体的な流れ	P.1
1 ユーザー登録とライセンスキーの確認	P.3
2 サービス利用情報の登録	P.6
3 『奉行製品』との接続	P.10
4 「導入ガイド」の確認	P.12
補足：プロキシサーバーをご利用の方へ	P.13

全体的な流れ

1 ユーザー登録とライセンスキーの確認 P. 3

「登録番号カード」を用意し、弊社サポートサイト（奉行 Net サービス）から、ユーザー情報を登録します。



以下のメールが送られてきます。

【件名】【OBC】ライセンスキー発行、および製品・サービス利用に関するご案内

《重要！》

複数の『奉行クラウド Edge（OBC i D利用）』または、『奉行クラウド Edge（OBC i D利用）』と『奉行クラウド』は、同じ環境（同じ「OBC i D」）で利用できます。

そのため、すでに『奉行クラウド Edge（OBC i D利用）』または『奉行クラウド』をご利用いただいているかどうかで、以降の手順が異なります。

※『奉行クラウド Edge（OBC i D利用）』は、以下のサービスが該当します。

- ・『奉行 Edge 労務管理電子化クラウド』
- ・『奉行 Edge 仕訳入力クラウド for 奉行シリーズ』
- ・『奉行 Edge 身上異動届出クラウド for 奉行シリーズ』
- ・『奉行 Edge 労務管理クラウド for 奉行シリーズ』
- ・『奉行 Edge 勤怠管理クラウド for 奉行シリーズ』
- ・『奉行 Edge 給与明細電子化クラウド for 奉行シリーズ』
- ・『証憑保管オプション for 奉行シリーズ』

（『奉行クラウド Edge』でも、『奉行 Edge マイナンバークラウド』『奉行 Edge 年末調整申告書クラウド』『奉行 Edge ストレスチェッククラウド』『奉行 Edge 人材情報化クラウド』『奉行 Edge 人材育成クラウド』『奉行 Edge 目標管理クラウド』については、「OBC i D」は使用しないため、上記には該当しません。）

右の **2** へ進む

2 サービス利用情報の登録 P. 6

※ **2** の手順は、すでに『奉行クラウド Edge（OBC i D利用）』または『奉行クラウド』をご利用か否かで異なります。（詳細は P. 6）

手順を間違えると、後から法人データを一元管理できません。

ご不明な場合は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

『奉行クラウド Edge（OBC i D利用）』
または『奉行クラウド』を・・・

はじめてご利用の方 P. 7

メールアドレスを入力します。



以下のメールが送られてきます。



【件名】
【OBC i D】サービス利用
情報を登録してください



法人名および、「登録番号」と
「ライセンスキー」を入力します。



以下のメールが送られてきます。



【件名】
【OBC i D】導入処理を
はじめてください



すでにご利用の方 P. 9

ご利用の『奉行クラウド Edge
（OBC i D利用）』を起動して、
ライセンスを追加します。



※『奉行 Edge 仕訳入力クラウド』は、
必ず新しい法人データが作成され、
別の法人データとして管理されます。



以下のメールが送られてきます。



【件名】
【OBC i D】導入処理を
はじめてください



3 『奉行製品』との接続

P. 10

当サービスにログインします。



サービスで接続情報をコピーし、『奉行製品』で貼り付けます。

4 「導入ガイド」の確認

P. 12

1 ユーザー登録とライセンスキーの確認

①

<https://id.obc.jp/hc/entry>

「登録番号カード」を用意し、インターネットで、こちらへアクセス



②

③

各規約の同意に
☒ チェック



ここをクリック

同意して進む

④

ホーム > 製品登録情報を入力 > 確認 / 会員登録情報確認 > 確認 / 会員登録情報を入力

ユーザー情報登録・OMSS開始 / 更新手続き

製品登録情報を入力 確認 / 確認 / 会員登録情報の入力 入力内容確認 / 登録完了

※注意
すでに登録済みの製品を入力するお客様は、必ずこちらから「製品登録更新」と「電話登録更新」を入力して、ユーザー情報を更新する必要があります。
すでに、登録済みの製品を何も入力せずにユーザー登録してしまうと、アフィリエイト・ユース・オブ・ファンダが弊社の利用になる場合があります。

お客様の製品登録状況、住所、連絡先情報を入力する必要があります。

住所、登録済みの事業所情報を選択し「確認」ボタンをクリックして確認が完了したら、登録済みの製品番号と電話番号を入力し、「製品情報入力」ボタンをクリックして完了します。

製品登録番号

製品番号

製品登録番号を入力

2 製品目以降の場合は、ユーザー登録済み製品の「製品登録番号」と「電話番号」を入力し、「製品情報の読込」ボタンをクリックすると、お客様情報（会社名等）の入力を省略できます。

製品登録完了

● OBC membership support & service情報

OBC membership support & serviceは、個人IDとパスワード「OBC」および「OBC」を使用してログインしてアクセス可能となります。

OBCコード 必須

個人ID OBC0000000000

OBCパスワード 必須

パスワード OBC0000000000

「OBC0000000000」はOBCで定められた個人IDでありOBCコードは、「OBC0000000000」と表示されています。
入力した個人IDとパスワードで、メンバー登録(個人ID:OBC00)します。
② 「OBC0000000000」はOBCで定められている個人IDは、必ずOBCです。OBC0000000000に個人IDを登録し、
アクセスします。
OBC0000000000 support & serviceの画面にアクセス、こちらからアクセスします。

クリック

確認する

確認番号は、サービスによっては「登録番号」用と「OMSSコード」用の2種類の記載がある場合があります。

ここでは、「登録番号カード」に記載されている「OMSSコード」用の確認番号を入力します。

入力してクリック

100 T

⑤

[illegible]

● CSC membership support & service情報

CSC membership support & service、申請コンプライアンス「当法人」から「当法人」してお問い合わせください。

CSCリンクコード

CSCリンクコードの取得方法

CSCリンクコードの取得方法

CSC

お問い合わせ

クリック

お問い合わせ

確認してクリック

管理工具

⑥

ホーム / 製品登録までの入力、確認 / 利用案内 / ユーザー情報の確認 / 登録実行 / 完了

ユーザー情報登録・OMSS開始 / 更新手続き

製品登録番号の入力、確認
各販売区域別の確認、同意
お客様情報への入力
入力内容確認
登録実行



ご登録ありがとうございます。

製品登録番号

00000000000000000000

ライセンスキー

00000000000000000000

※表示されているライセンスキーは、製品の廃後確認時決定にご入力が必要となります。

ご登録いただきましたメールアドレス宛に、ユーザー情報登録完了のご案内をお送りいたします。
24時間以内のメールが届かない場合は、お手数ですが [サポートデスク](#) までご連絡ください。

続けて他の製品のユーザー登録を行う場合は以下より行ってください。

[続けてユーザー登録を行う](#)

※ご契約いただいたサービスによっては、表示内容が多少異なる場合がございます。

- ⑦ ⑤で登録したメールアドレスに、以下のメールが送られてきます。
件名「【OBC】ライセンスキー発行、および製品・サービス利用に関するご案内」

OBCユーザー管理室 <idbc@omss.jp>
【OBC】ライセンスキー発行、および製品・サービス利用に関するご案内

■ ライセンスキーのご案内

ご利用製品のライセンスキーが発行されました。
製品の導入設定時にご入力が必要となります。

◆製品名 : 奉行クラウド Edge (OBC iD利用)
◆製品登録番号 : 0000000000000000
◆ライセンスキー : 0000000000000000

以下の URL からサービス利用情報の登録をしてください。
<https://id.obc.jp/Apply>

詳しい手順につきましては、【起動するまでの手順書】の
「2.サービス利用情報の登録」以降をご確認ください。

■ OMSS 会員 ID 番号のご案内

特典やサービスを受けるために必要な OMSS (OBC メンバーシップサービス) 会員 ID 番号が発行されました。
サポートセンターへお問い合わせの際は、以下の ID 番号が必要となります。

◆ID 番号 : 0000000000000000

「登録番号」と「ライセンスキー」が
記載されています。
この後の手順で使用します。

<重要！>

ID 番号は弊社サポートセンターにお問い合わせいただく際に
必要です。このメールを保管するか、または ID 番号を控えて
おいてください。

ユーザー登録が完了した後に不明な点がある場合は、
弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

次ページの「**2** サービス利用情報の登録」の手順は、
すでに『奉行クラウド Edge (OBC iD利用)』または
『奉行クラウド』をご利用いただいているかで手順が異なります。

<注>手順を間違えると、後から法人データを一元管理できません。

ご不明な場合は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

次ページの **2** へ進みます。

2 サービス利用情報の登録

ご利用状況に応じて、選択してください。

<https://id.obc.jp/Apply>

インターネットで、こちらへアクセス

『奉行クラウド Edge (OBC i D利用)』または『奉行クラウド』を…

※『奉行クラウド Edge (OBC i D利用)』は、以下のサービスが該当します。

- ・『奉行 Edge 労務管理電子化クラウド』
- ・『奉行 Edge 仕訳入力クラウド for 奉行シリーズ』 ・『奉行 Edge 身上異動届出クラウド for 奉行シリーズ』
- ・『奉行 Edge 労務管理クラウド for 奉行シリーズ』 ・『奉行 Edge 勤怠管理クラウド for 奉行シリーズ』
- ・『奉行 Edge 給与明細電子化クラウド for 奉行シリーズ』 ・『証憑保管オプション for 奉行シリーズ』

(『奉行クラウド Edge』でも、『奉行 Edge マイナンバークラウド』『奉行 Edge 年末調整申告書クラウド』『奉行 Edge ストレスチェッククラウド』『奉行 Edge 人材情報化クラウド』『奉行 Edge 人材育成クラウド』『奉行 Edge 目標管理クラウド』については、「OBC i D」は使用しないため、上記には該当しません。)

はじめてご利用の方

『奉行クラウド』へようこそ

すでに『奉行クラウド』をご利用中のお客様

奉行クラウド 奉行ERPクラウド 奉行クラウド Edge

すでに『奉行クラウド』をご利用中のお客様は、[進む] ボタンをクリックしてください。

進む

はじめて『奉行クラウド』をご利用になるお客様

はじめて『奉行クラウド』をご利用になるお客様は、[進む] ボタンをクリックしてください。

進む

すでにご利用の方

例えば、『勘定奉行クラウド』を利用中に『奉行 Edge 勤怠管理クラウド for 奉行シリーズ』を購入した際に、別の「OBC i D」で管理したい場合など、今まで利用していた『奉行クラウド Edge』や『奉行クラウド』とは、別のクラウド環境で利用したい場合は、次ページの「■ はじめてご利用の方」の手順を行ってください。ただし、後から法人データを一元管理できませんので、ご注意ください。

[P. 9 へ](#)

[次ページへ](#)

■ はじめてご利用の方

■ すでにご利用の方

- ① 『管理ポータル』を利用できる利用者で、ご利用中の『奉行クラウド Edge』にログインします。



※[ライセンス]-[ライセンス情報]メニューのメニュー権限がある利用者でログインしてください。

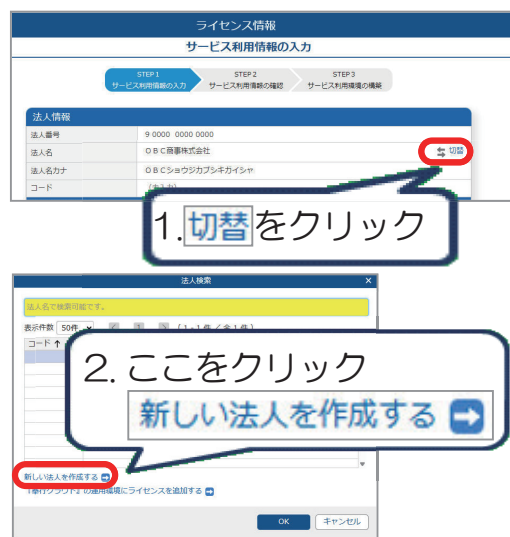
- ② 『管理ポータル』を起動します。



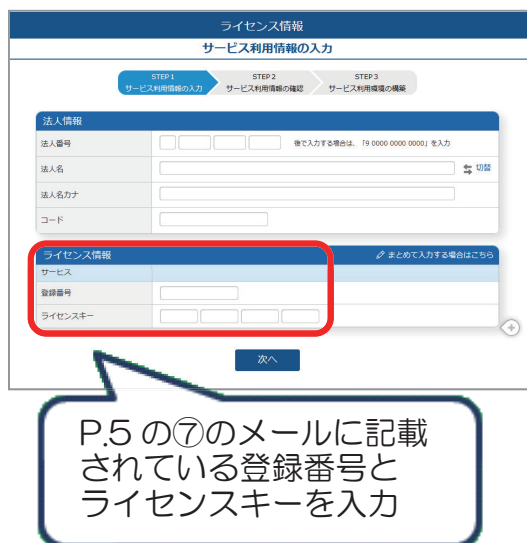
- ③ 1. [ライセンス]-[ライセンス情報]メニューを選択します。
2. 「ライセンス追加」をクリックします。



- ④ 1. 法人名の「切替」をクリックします。
2. 「新しい法人を作成する」をクリックします。

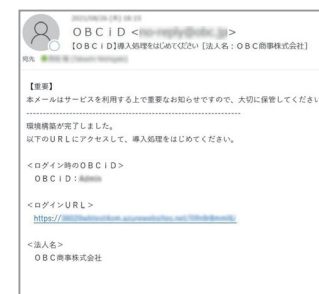


- ⑤ 法人情報とライセンス情報を入力し、[次へ]をクリックします。



- ⑥ 「実行」をクリックします。
以下のメールが送られてきます。

件名「【OBC i D】導入処理をはじめてください」



※メールに記載されている URL は、今後も当サービスを開始する際に使用します。大切に保管し、今後システム管理者が代わる際は、新しいシステム管理者に上記のメールの URL をお伝えください。

以上で、「■ すでにご利用の方」の ② の作業は完了です。

続いて、『奉行製品』との接続が必要です。

次ページへ進みます。

3 『奉行製品』との接続

あらかじめ、連携する『奉行製品』でデータ領域を作成しておいてください。

※手順は連携する『奉行製品』の「ガイドブック」をご参照ください。

※プロキシサーバーを利用している場合は、奉行製品と接続する前に必要な設定があります。
先に P.13「補足：プロキシサーバーをご利用の方へ」の設定を確認してください。

- ① [法人情報] - [法人情報] メニュー選択し、 (参照) をクリックします。

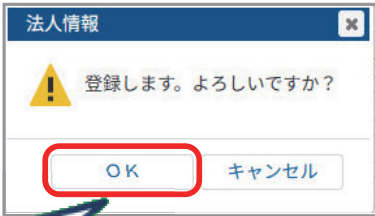


情報のコピー をクリック

- ② 任意の「システム連携ID」を入力します。
※「システム連携ID」は、『奉行製品』と連携するためのIDです。
管理者用のIDとは別に、任意のIDを用意してください。



入力してクリック



クリック

- ③

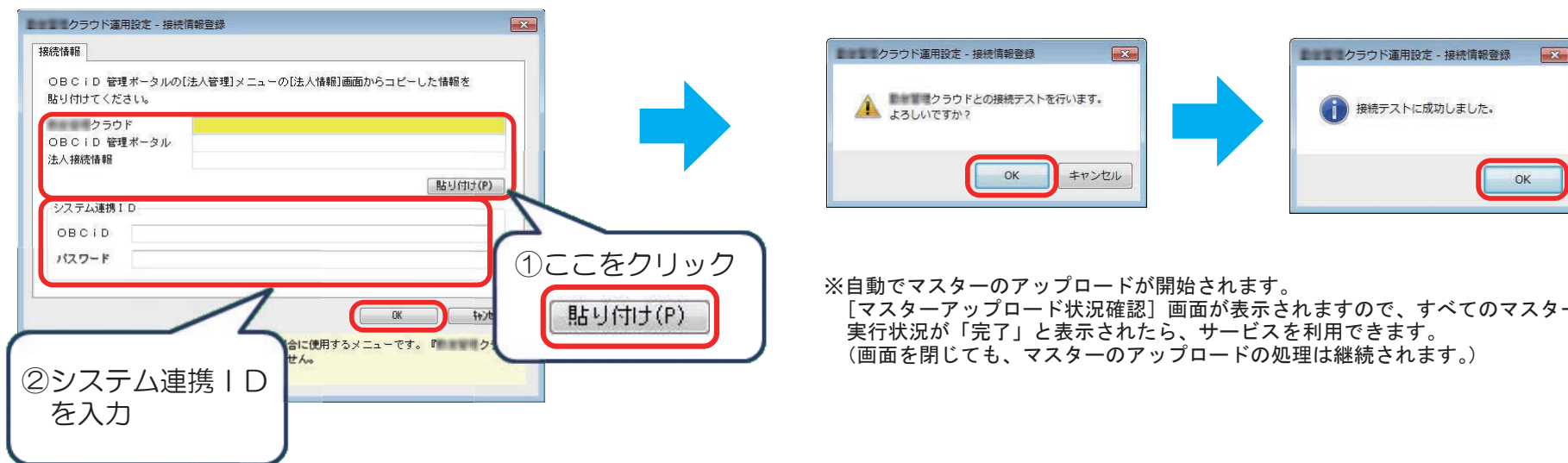


クリック

※上記画面が表示されない場合は、③へ進みます。

④『奉行製品』で以下のメニューを選択します。

『勘定奉行 Smart』『勘定奉行 11』の[導入処理]-[運用設定]-[仕訳入力クラウド連携設定]メニュー



以上で、「③『奉行製品』との接続」までの作業は完了です。

続いて、当サービスの導入作業に進みます。

ここからの作業は、奉行 Net サービスで当サービスの「導入ガイド」をご確認ください。

「導入ガイド」の確認方法は、次ページをご参照ください。

4 「導入ガイド」の確認

続いて、当サービスの導入ガイドを確認してください。

①

<https://www.obcnet.jp/docdl/>

インターネットで、
こちらへアクセス



②

＜※＞・登録番号は、当サービス（『奉行クラウドEdge』用）の登録番号です。
（連携する『奉行製品』の登録番号ではありません。）

・電話番号は、P. 4の⑤で登録した番号です。

登録番号と電話番号＜※＞
を入力してクリック

③

「導入ガイド」をクリックして、確認します。



導入手順を記載しています。

続いて、「導入ガイド」に記載されている手順にしたがって、
当サービスの導入を進めてください。

補足：プロキシサーバーをご利用の方へ

当サービスは、『奉行製品』とインターネットを介して接続しています。

プロキシサーバーをご利用の場合は、『奉行製品』から当サービスに接続する際に、あらかじめ、『奉行製品』がセットアップされているコンピュータで以下の設定が必要です。

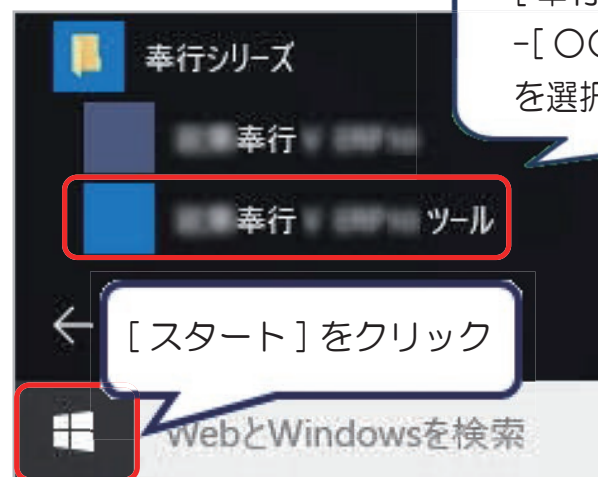
※プロキシサーバーを利用しているかは、ネットワーク管理者にご確認ください。

注 意



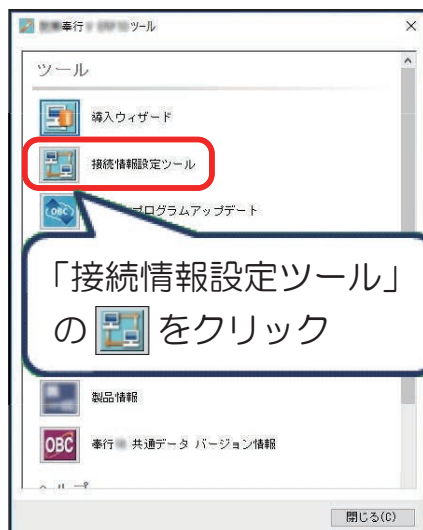
『奉行 11』の「ネットワーク版」と連携する場合は、『奉行 11』のサーバー用コンピュータで設定します。

①



※画面はOSや製品により、多少異なります。

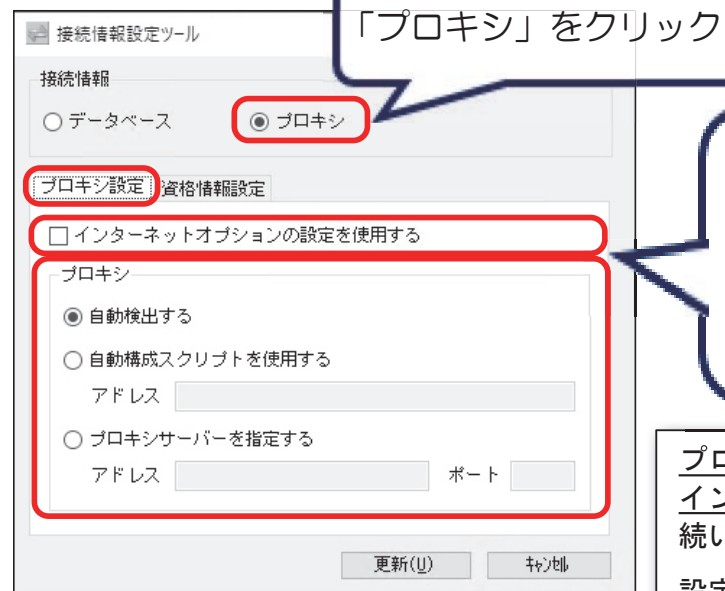
②



※画面は製品により、多少異なります。

※ユーザーアカウント制御のメッセージが表示された場合は、[はい] ボタンをクリックしてください。

③



「プロキシ設定」ページで「インターネットオプションの設定を使用する」のチェックを外し、プロキシサーバーへ接続する方法を設定します。

プロキシサーバーで認証されたユーザーだけをインターネット通信できるように設定している場合は、続いて次ページへ進みます。

設定していない場合は、[更新] ボタンをクリックして設定作業が完了です。

プロキシサーバーで認証されたユーザーだけをインターネット通信できるように設定している場合

接続情報設定ツール

接続情報

☐ データベース ☒ プロキシ

プロキシ設定 資格情報設定

☒ 資格情報を設定する

資格情報

ユーザー名

パスワード

更新(U)

① [資格情報設定] ページを開き、「資格情報を設定する」にチェックを付けます。

② 「ユーザー名」と「パスワード」に、プロキシサーバーの認証に使うユーザー名とパスワードを入力します。

③ クリック

以上で、プロキシサーバーに関する設定の作業は完了です。

— 禁 無 断 転 載 —

2026年10月16日 第24版

著 者 株式会社オービックビジネスコンサルタント システム開発グループ
発行所 株式会社オービックビジネスコンサルタント 出版部

<https://www.obc.co.jp>
